

## 再評価を実施した事業

別紙1

1. 直轄事業(沖縄総合事務局)  
(道路) 4件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興推進の視点からの評価
①	一般国道58号 <small>ウラソエキタド ウロ</small> 浦添北道路 <small>ウラソエシ キノワンシ</small> (浦添市、宜野湾市)	平成18年度 304億円	事業区間: 沖縄県宜野湾市宇地泊～浦添市港川  延長: 2.0 km  用地進捗率: 約66% 事業進捗率: 約58%	事業継続	<p>浦添北道路は、沖縄西海岸道路の一部を構成し、那覇港、那覇空港等へのアクセス性向上、那覇都市圏の交通混雑の緩和等に寄与する事業であり、これは沖縄振興計画(沖縄21世紀ビジョン基本計画)の「陸上交通基盤の整備」の趣旨にかなうものであり、地域から早期整備の要望を受けている事業である。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄振興計画(沖縄21世紀ビジョン基本計画)】 P57 第3章 基本施策 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して (1)自立型経済の構築に向けた基盤の整備 ウ 陸上交通基盤の整備 陸上交通は、県民生活や観光客の利便性の向上及び産業の発展に密接に関わっていることから、高速性、定時性、安全性の確保に加え、広域交流拠点と各圏域拠点間のアクセスの改善、公共交通機関の整備等、多様なニーズに対応した質的充実を図ります。</p> <p>このため、道路の整備については、那覇空港自動車道の完成供用及び読谷村から糸満市に至る沖縄西海岸道路の全線の早期完成に向けた整備を促進するとともに、南部東道路等の幹線道路の整備を引き続き推進し、本島南北軸・東西軸を有機的に結ぶ幹線道路網(ハンゴ道路ネットワーク)の構築を図ります。また、那覇都市圏の交通の円滑化を図るため、環状道路等の整備を推進します。あわせて、道路利用者の利便性や快適性の向上を図るため、情報通信技術の活用等による交通の円滑化や沿道環境及び景観に配慮した道路整備等を推進します。</p> <p>(参考)国土交通省所管公共事業の再評価実施要領に基づき沖縄総合事務局が行った費用対効果分析結果は、事業全体2.4・残事業12.3</p>

再評価を実施した事業

別紙1

1. 直轄事業(沖縄総合事務局)  
(道路) 4件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興推進の視点からの評価
②	一般国道58号 <small>カテナ</small> 嘉手納バイパス <small>カテナチヨウ ヨミタンソン</small> (嘉手納町、読谷村)	昭和62年度 286億円	事業区間: 沖縄県読谷村古堅～嘉手納町兼久  延長: 3.2km  用地進捗率: 約90% 事業進捗率: 約10%	事業継続	<p>嘉手納バイパスは、幹線道路網(ハシゴ道路ネットワーク)の一部を構成し、中部地域及び北部地域から那覇港、那覇空港等へのアクセス性向上、嘉手納町内等における国道58号の交通混雑の緩和等に寄与する事業であり、これは沖縄振興計画(沖縄21世紀ビジョン基本計画)の「陸上交通基盤の整備」の趣旨にかなうものであり、地域から早期整備の要望を受けている事業である。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄振興計画(沖縄21世紀ビジョン基本計画)】                      P57 第3章 基本施策                      3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して                      (1) 自立型経済の構築に向けた基盤の整備                      ウ 陸上交通基盤の整備</p> <p>陸上交通は、県民生活や観光客の利便性の向上及び産業の発展に密接に関わっていることから、高速性、定時性、安全性の確保に加え、広域交流拠点と各圏域拠点間のアクセスの改善、公共交通機関の整備等、多様なニーズに対応した質的充実を図ります。</p> <p>このため、道路の整備については、那覇空港自動車道の完成供用及び読谷村から糸満市に至る沖縄西海岸道路の全線の早期完成に向けた整備を促進するとともに、南部東道路等の幹線道路の整備を引き続き推進し、<u>本島南北軸・東西軸を有機的に結ぶ幹線道路網(ハシゴ道路ネットワーク)の構築を図ります。</u>また、那覇都市圏の交通の円滑化を図るため、環状道路等の整備を推進します。あわせて、道路利用者の利便性や快適性の向上を図るため、情報通信技術の活用等による交通の円滑化や沿道環境及び景観に配慮した道路整備等を推進します。</p> <p>(参考) 国土交通省所管公共事業の再評価実施要領に基づき沖縄総合事務局が行った費用対効果分析結果は、事業全体2.0・残事業2.4</p>

## 再評価を実施した事業

別紙1

1. 直轄事業(沖縄総合事務局)  
(道路) 4件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興推進の視点からの評価
③	一般国道58号 <small>ナゴヒガン</small> 名護東道路 <small>ナゴシ</small> (名護市)	平成9年度 962億円	事業区間: 沖縄県 名護市伊差川～名護市数久田 延長: 6.8km 用地進捗率: 約83% 事業進捗率: 約40%	事業継続	<p>名護東道路は、幹線道路網(ハンゴ道路ネットワーク)の一部を構成し、沖縄本島北部地域から那覇港、那覇空港等へのアクセス性向上、名護市街地の交通混雑の緩和等に寄与する事業であり、これは沖縄振興計画(沖縄21世紀ビジョン基本計画)の「陸上交通基盤の整備」の趣旨にかなうものであり、地域から早期整備の要望を受けている事業である。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄振興計画(沖縄21世紀ビジョン基本計画)】 P57 第3章 基本施策 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して (1)自立型経済の構築に向けた基盤の整備 ウ 陸上交通基盤の整備 陸上交通は、県民生活や観光客の利便性の向上及び産業の発展に密接に関わっていることから、高速性、定時性、安全性の確保に加え、広域交流拠点と各圏域拠点間のアクセスの改善、公共交通機関の整備等、多様なニーズに対応した質的充実を図ります。</p> <p>このため、道路の整備については、那覇空港自動車道の完成供用及び読谷村から糸満市に至る沖縄西海岸道路の全線の早期完成に向けた整備を促進するとともに、南部東道路等の幹線道路の整備を引き続き推進し、本島南北軸・東西軸を有機的に結ぶ幹線道路網(ハンゴ道路ネットワーク)の構築を図ります。また、那覇都市圏の交通の円滑化を図るため、環状道路等の整備を推進します。あわせて、道路利用者の利便性や快適性の向上を図るため、情報通信技術の活用等による交通の円滑化や沿道環境及び景観に配慮した道路整備等を推進します。</p> <p>(参考)国土交通省所管公共事業の再評価実施要領に基づき沖縄総合事務局が行った費用対効果分析結果は、事業全体1.1・残事業2.0</p>

## 再評価を実施した事業

別紙1

1. 直轄事業(沖縄総合事務局)  
(道路) 4件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興推進の視点からの評価
④	一般国道58号 <small>オンナ</small> 恩納バイパス <small>オンナン</small> (恩納村)	平成元年 330億円	事業区間: 沖縄県 恩納村字瀬良垣～恩納村字南恩納  延長: 5.1km  用地進捗率: 約99% 事業進捗率: 約76%	事業継続	<p>恩納バイパスは、幹線道路網(ハシゴ道路ネットワーク)の一部を構成し、沖縄本島有数のリゾート施設群及び沖縄科学技術大学院大学から那覇港、那覇空港等へのアクセス性向上等に寄与する事業であり、これは沖縄振興計画(沖縄21世紀ビジョン基本計画)の「陸上交通基盤の整備」の趣旨にかなうものであり、地域から早期整備の要望を受けている事業である。よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄振興計画(沖縄21世紀ビジョン基本計画)】 P57 第3章 基本施策 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して (1)自立型経済の構築に向けた基盤の整備 ウ 陸上交通基盤の整備 陸上交通は、県民生活や観光客の利便性の向上及び産業の発展に密接に関わっていることから、高速性、定時性、安全性の確保に加え、広域交流拠点と各圏域拠点間のアクセスの改善、公共交通機関の整備等、多様なニーズに対応した質的充実を図ります。</p> <p>このため、道路の整備については、那覇空港自動車道の完成供用及び読谷村から糸満市に至る沖縄西海岸道路の全線の早期完成に向けた整備を促進するとともに、南部東道路等の幹線道路の整備を引き続き推進し、本島南北軸・東西軸を有機的に結ぶ幹線道路網(ハシゴ道路ネットワーク)の構築を図ります。また、那覇都市圏の交通の円滑化を図るため、環状道路等の整備を推進します。あわせて、道路利用者の利便性や快適性の向上を図るため、情報通信技術の活用等による交通の円滑化や沿道環境及び景観に配慮した道路整備等を推進します。</p> <p>(参考)国土交通省所管公共事業の再評価実施要領に基づき沖縄総合事務局が行った費用対効果分析結果は、事業全体3.1・残事業6.9</p>

再評価を実施した事業

1. 直轄事業（沖縄総合事務局）

（港湾） 7件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興計画推進の視点からの評価
⑤	<p>ナハコウ ウラソエ トウチク コクナイブツリョウ 那覇港浦添ふ頭地区国内物流ターミナル整備事業 セイビ ジギョウ ウラソエシ (浦添市)</p>	<p>平成9年度 189億円</p>	<p>・実施箇所 那覇港浦添ふ頭地区</p> <p>・事業概要 岸壁(水深7.5m) 延長 260m 泊地(水深7.5m) 土量 約13万m<sup>3</sup> 港湾施設用地 面積 約2.3ha ふ頭用地舗装 面積 約2.2ha 防波堤 延長 300m</p> <p>・事業の進捗状況 平成26年度末進捗率；約93%</p>	<p>今後は、平成29年度の完成を目指し、防波堤（浦添第一）の進捗を図る。</p>	<p>本事業は、那覇港の物流効率化を図り、さらに航行船舶及び荷役作業の安全性と効率性を確保する観点から整備するものであり、これは、沖縄21世紀ビジョン基本計画「人流・物流を支える港湾の整備」の趣旨にかなうものである。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】 第3章 基本施策 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して (1) 自立型経済の構築に向けた基盤の整備 P56 イ 人流・物流を支える港湾の整備 「那覇港については、那覇空港やふ頭間等とを結ぶ臨港道路の整備、防波堤や耐震岸壁などの港湾施設の整備を促進します。(略)生活物資や産業関連物資等が集中する国内航路については、船舶の大型化等に対応するため、岸壁、ふ頭用地、上屋などの港湾施設の強化・拡充等を図るほか、各ふ頭の機能再編を実施し、効率的で安全な港を整備します。」</p> <p>(参考)国土交通省所管公共事業の再評価実施要領に基づき沖縄総合事務局が行った費用対効果分析結果は、 事業全体 1.2・残事業 11.0</p>

再評価を実施した事業

1. 直轄事業（沖縄総合事務局）

（港湾） 7件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興計画推進の視点からの評価												
⑥	<p>ナカグスワン シンロウチク コクサイブツリョウ                      中城湾港新港地区国際物流ターミナル整備事業                      セイビ シギョウ                      （うるまし、<sup>オキナワシ</sup>沖縄市）</p>	<p>平成4年度 496億円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施箇所 中城湾港新港地区</li> <li>・事業概要                             <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>岸壁(水深11m)</td> <td>延長</td> <td>190m</td> </tr> <tr> <td>泊地(水深11m)</td> <td>土量</td> <td>約342万m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>港湾施設用地</td> <td>面積</td> <td>約1.1ha</td> </tr> <tr> <td>臨港道路</td> <td>一式</td> <td></td> </tr> </table> </li> <li>・事業の進捗状況 平成26年度末進捗率：約82%</li> </ul>	岸壁(水深11m)	延長	190m	泊地(水深11m)	土量	約342万m <sup>3</sup>	港湾施設用地	面積	約1.1ha	臨港道路	一式		<p>今後は、平成28年度の完成を目指し、泊地の進捗を図る。</p>	<p>本事業は、中城湾港の新港地区立地企業の物流効率化を図り、さらに企業進出促進を図る観点から整備するものであり、これは、沖縄21世紀ビジョン基本計画「人流・物流を支える港湾の整備」の趣旨にかなうものである。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】                      第3章 基本施策                      3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して                      (1) 自立型経済の構築に向けた基盤の整備                      P57 人流・物流を支える港湾の整備                      「中城湾港については、沖縄本島東海岸地域の活性化を図るため、新港地区、泡瀬地区及び西原与那原地区の整備を推進します。特に新港地区においては、産業支援港湾としての整備を着実に進めるとともに、那覇港との適正な機能分担や定期航路就航の実現等により物流拠点の形成を推進します。」</p> <p>（参考）国土交通省所管公共事業の再評価実施要領に基づき沖縄総合事務局が行った費用対効果分析結果は、                      事業全体 1.1・残事業 10.8</p>
岸壁(水深11m)	延長	190m															
泊地(水深11m)	土量	約342万m <sup>3</sup>															
港湾施設用地	面積	約1.1ha															
臨港道路	一式																

## 再評価を実施した事業

## 1. 直轄事業（沖縄総合事務局）

(港湾) 7件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興計画推進の視点からの評価
⑦	ヒララ、ホンコウチク、ボウハテイ、セイビ、ジギョウ 平良港本港地区防波堤整備事業 ミヤコジマ (宮古島市)	昭和60年度 729億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施箇所 平良港本港地区</li> <li>・事業概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>防波堤(下崎西) 延長 2,400m</li> <li>防波堤(下崎北) 延長 810m</li> <li>防波堤(下崎北)(第二) 延長 300m</li> <li>防波堤(下崎北)(改良) 延長 400m</li> <li>防波堤(下崎西)(改良) 延長 2,000m</li> <li>避難泊地(水深10m) 土量 約10万m<sup>3</sup></li> <li>航路(水深11m) 土量 約4万m<sup>3</sup></li> </ul> </li> <li>・事業の進捗状況 平成26年度末進捗率：約89%</li> </ul>	<p>今後は、平成35年度の完成を目指し、防波堤(改良)の進捗を図る。</p>	<p>本事業は、平良港において、荒天時の安全な避泊水域の確保を図り、海難事故による損失を回避する観点から整備するものであり、これは、沖縄21世紀ビジョン基本計画「人流・物流を支える港湾の整備」の趣旨にかなうものである。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】 第3章 基本施策 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して (1) 自立型経済の構築に向けた基盤の整備 P56 イ 人流・物流を支える港湾の整備 「平良港、石垣港、本部港については、それぞれの圏域の拠点としての機能を高め、大型クルーズ船に対応する旅客船バース等の整備を進めるとともに、(略)。」</p> <p>(参考)国土交通省所管公共事業の再評価実施要領に基づき沖縄総合事務局が行った費用対効果分析結果は、 事業全体 1. 1・残事業 7. 6</p>

## 再評価を実施した事業

## 1. 直轄事業（沖縄総合事務局）

(港湾) 7件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興計画推進の視点からの評価										
⑧	<small>ヒララ ハシミズ チク フクゴウ イツカン ユノウ</small> 平良港漲水地区複合一貫輸送ターミ <small>カイリョウジギョウ</small> ナル改良事業 <small>ミヤコジマ</small> (宮古島市)	平成24年度 60億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施箇所 平良港漲水地区</li> <li>・事業概要               <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>岸壁(水深7.5m)(改良)(耐震)</td> <td>延長 220m</td> </tr> <tr> <td>港湾施設用地</td> <td>面積 約 3ha</td> </tr> <tr> <td>臨港道路</td> <td>延長 244m</td> </tr> <tr> <td>緑地</td> <td>面積 約 3ha</td> </tr> <tr> <td>ふ頭用地</td> <td>面積 約 3ha</td> </tr> </table> </li> <li>・事業の進捗状況 平成26年度末進捗率；約44%</li> </ul>	岸壁(水深7.5m)(改良)(耐震)	延長 220m	港湾施設用地	面積 約 3ha	臨港道路	延長 244m	緑地	面積 約 3ha	ふ頭用地	面積 約 3ha	今後は、平成29年度の完成を目指し、岸壁や港湾施設用地等の進捗を図る。	<p>本事業は、平良港の安全かつ安定的な海上輸送の確保及び非効率な荷役形態の改善等を図る観点から整備するものであり、これは、沖縄21世紀ビジョン基本計画「災害に強い県土づくりと防災体制の強化」「人流・物流を支える港湾の整備」の趣旨にかなうものである。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】 第3章 基本施策 2 心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して (4) 社会リスクセーフティネットの確立 P47 イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化 「(略)災害時の輸送手段及び代替性の確保については、(略)空港・港湾・漁港における緊急物資輸送機能を有する施設の整備や安全で安定的な運航の確保(略)構築します。」 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して (1) 自立型経済の構築に向けた基盤の整備 P56 イ 人流・物流を支える港湾の整備 「平良港、石垣港、本部港については、それぞれの圏域の拠点としての機能を高め、大型クルーズ船に対応する旅客船バース等の整備を進めるとともに、(略)。」</p> <p>(参考) 国土交通省所管公共事業の再評価実施要領に基づき沖縄総合事務局が行った費用対効果分析結果は、 事業全体 2.6・残事業 5.0</p>
岸壁(水深7.5m)(改良)(耐震)	延長 220m														
港湾施設用地	面積 約 3ha														
臨港道路	延長 244m														
緑地	面積 約 3ha														
ふ頭用地	面積 約 3ha														



再評価を実施した事業

1. 直轄事業（沖縄総合事務局）

（港湾） 7件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興計画推進の視点からの評価																																	
⑨	インガキ ホンコウチク リトウ セイビ 石垣港本港地区離島ターミナル整備 シキョウ 事業 インガキ （石垣市）	平成15年度 88億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施箇所 石垣港本港地区</li> <li>・事業概要                             <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>岸壁(水深7.5m)</td><td>延長</td><td>130m</td></tr> <tr><td>泊地(水深7.5m)</td><td>土量</td><td>約7万m<sup>3</sup></td></tr> <tr><td>港湾施設用地</td><td>面積</td><td>約0.3ha</td></tr> <tr><td>臨港道路</td><td>延長</td><td>820m</td></tr> <tr><td>緑地</td><td>面積</td><td>約2ha</td></tr> <tr><td>岸壁(水深4.5m)</td><td>延長</td><td>120m</td></tr> <tr><td>物揚場(水深3.0~3.5m)</td><td>延長</td><td>323m</td></tr> <tr><td>防波堤(沖南)</td><td>延長</td><td>24m</td></tr> <tr><td>波除堤(北)</td><td>延長</td><td>115m</td></tr> <tr><td>上屋</td><td>棟数</td><td>2棟</td></tr> <tr><td>浮棧橋</td><td>基数</td><td>4基</td></tr> </table> </li> <li>・事業の進捗状況 平成26年度末進捗率：約82%</li> </ul>	岸壁(水深7.5m)	延長	130m	泊地(水深7.5m)	土量	約7万m <sup>3</sup>	港湾施設用地	面積	約0.3ha	臨港道路	延長	820m	緑地	面積	約2ha	岸壁(水深4.5m)	延長	120m	物揚場(水深3.0~3.5m)	延長	323m	防波堤(沖南)	延長	24m	波除堤(北)	延長	115m	上屋	棟数	2棟	浮棧橋	基数	4基	今後は、平成32年度の完成を目指し、物揚場や岸壁等の進捗を図る。	<p>本事業は、石垣港の既存施設の利用上の問題を改善し、また市街地の安全性の確保の観点から整備するものであり、これは、沖縄21世紀ビジョン基本計画「人流・物流を支える港湾の整備」「観光客の受入体制の整備」の趣旨にかなうものである。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】 第3章 基本施策 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して (1) 自立型経済の構築に向けた基盤の整備 P56 イ 人流・物流を支える港湾の整備 「平良港、石垣港、本部港については、それぞれの圏域の拠点としての機能を高め、大型クルーズ船に対応する旅客船バース等の整備を進めるとともに、(略)。」 (2) 世界水準の観光リゾート地の形成 P60 ウ 観光客の受入体制の整備 「(略) 海の玄関口である港湾については、大型クルーズ船に対応した岸壁やターミナルビル等の整備、(略)、高齢者等が安全に利用するための浮棧橋等の整備を推進します。」</p> <p>(参考) 国土交通省所管公共事業の再評価実施要領に基づき沖縄総合事務局が行った費用対効果分析結果は、 事業全体 2.0・残事業 2.6</p>
岸壁(水深7.5m)	延長	130m																																				
泊地(水深7.5m)	土量	約7万m <sup>3</sup>																																				
港湾施設用地	面積	約0.3ha																																				
臨港道路	延長	820m																																				
緑地	面積	約2ha																																				
岸壁(水深4.5m)	延長	120m																																				
物揚場(水深3.0~3.5m)	延長	323m																																				
防波堤(沖南)	延長	24m																																				
波除堤(北)	延長	115m																																				
上屋	棟数	2棟																																				
浮棧橋	基数	4基																																				

## 再評価を実施した事業

## 1. 直轄事業（沖縄総合事務局）

(港湾) 7件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興計画推進の視点からの評価
⑩	インガキ シンコウ チク リョウカクセン セイ 石垣港新港地区旅客船ターミナル整 備事業 （石垣市）	平成17年度 149億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施箇所 石垣港新港地区</li> <li>・事業概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>岸壁(水深9m) 延長 340m</li> <li>泊地(水深9m) 土量 約56万m<sup>3</sup></li> <li>臨港道路 延長 1,420m</li> <li>防波堤(沖南) 延長 18m</li> <li>防波堤(外) 延長 300m</li> <li>新港防波堤 延長 230m</li> </ul> </li> <li>・事業の進捗状況 平成25年度末進捗率；約58%</li> </ul>	<p>今後は、平成30年度の完成を目指し、防波堤や岸壁等の進捗を図る。</p>	<p>本事業は、石垣港の国際観光の発展を支援するため、また、貨物岸壁との併用による旅客の安全性の確保及び荷役作業の効率性を確保する観点から整備するものであり、これは、沖縄21世紀ビジョン基本計画「人流・物流を支える港湾の整備」「観光客の受入体制の整備」の趣旨にかなうものである。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】 第3章 基本施策 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して (1) 自立型経済の構築に向けた基盤の整備 P56 イ 人流・物流を支える港湾の整備 「平良港、石垣港、本部港については、それぞれの圏域の拠点としての機能を高め、大型クルーズ船に対応する旅客船バース等の整備を進めるとともに、(略)。」 (2) 世界水準の観光リゾート地の形成 P60 ウ 観光客の受入体制の整備 「(略) 海の玄関口である港湾については、大型クルーズ船に対応した岸壁やターミナルビル等の整備。国際的な観光リゾート地にふさわしいユニバーサルデザインの理念に基づく港湾施設やマリナー・フィッシャリーナ等の整備を推進するとともに、(略)。」</p> <p>(参考) 国土交通省所管公共事業の再評価実施要領に基づき沖縄総合事務局が行った費用対効果分析結果は、 事業全体 1.4・残事業 4.3</p>

再評価を実施した事業

別紙1

1. 直轄事業（沖縄総合事務局）

（港湾） 7件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興計画推進の視点からの評価									
⑪	<small>タケトミ ミナヨウロ セイビ ジギョウ</small> 竹富南航路整備事業 <small>タケトミ</small> （竹富町）	平成23年度 5.4億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施箇所 竹富南、小浜、黒島航路</li> <li>・事業概要                             <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>竹富南航路(水深3~4m)</td> <td>延長</td> <td>4,600m</td> </tr> <tr> <td>小浜航路(水深3m)</td> <td>延長</td> <td>4,200m</td> </tr> <tr> <td>黒島航路(水深3m)</td> <td>延長</td> <td>1,800m</td> </tr> </table> </li> <li>・事業の進捗状況 平成26年度末進捗率：約61%</li> </ul>	竹富南航路(水深3~4m)	延長	4,600m	小浜航路(水深3m)	延長	4,200m	黒島航路(水深3m)	延長	1,800m	今後は、平成29年度の完成を目指し、竹富南、小浜、黒島航路の進捗を図る。	<p>本事業は、竹富南航路における既存航路の利用上の問題を改善し、安全・安心性、効率性を高める観点から整備するものであり、これは、沖縄21世紀ビジョン基本計画「観光客の受入体制の整備」「交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化」の趣旨にかなうものである。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】 第3章 基本施策 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して (2) 世界水準の観光リゾート地の形成 P60 ウ 観光客の受入体制の整備 「世界水準の観光地としてふさわしい舞台づくりを推進するため、交通基盤の整備による観光客の移動の円滑化、(略)に努めます。」 (11) 離島における定住条件の整備 P89 ウ 交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化 「港湾等については、海上交通の安全性・安定性の確保、質の高い観光リゾート地の形成、(略)新たな港湾施設等の整備を推進します。」</p> <p>(参考) 国土交通省所管公共事業の再評価実施要領に基づき沖縄総合事務局が行った費用対効果分析結果は、 事業全体 1.3・残事業 2.7</p>
竹富南航路(水深3~4m)	延長	4,600m												
小浜航路(水深3m)	延長	4,200m												
黒島航路(水深3m)	延長	1,800m												

1. 直轄事業(沖縄総合事務局)  
(国営公園) 1件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興推進の視点からの評価
⑫	コクエイオキナワキネンコウエン 国営沖縄記念公園 モトブチヨウ ナハシ (本部町、那覇市)	海洋博覧会地区 昭和50年度 首里城地区 昭和61年度 1,185億円	事業箇所 海洋博覧会地区(沖縄県本部町) 計画面積:77.2ha 供用面積:71.8ha 首里城地区(沖縄県那覇市) 計画面積:4.7ha 供用面積:2.9ha	事業継続	<p>国営沖縄記念公園は、両地区あわせて年間の入園者数が643万人(H25年度)と同年度の観光入域客数658万人に匹敵する数を記録し、沖縄観光の核となる施設となっており、沖縄振興基本方針、沖縄振興計画(沖縄21世紀ビジョン基本計画)など、沖縄振興に関する各計画等に位置づけられ、更なる観光振興拠点機能の充実等が求められている。よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄振興基本方針】 P9 Ⅲ 沖縄の振興に関する基本的な事項 11 社会資本の整備及び土地の利用に関する基本的な事項 (2) 各種社会資本の整備 (前略) 都市公園、…各種生活環境基盤について、施設の老朽化対策に計画的に取り組みつつ、引き続き整備推進を図る。(以下、省略)</p> <p>【沖縄振興計画(沖縄21世紀ビジョン基本計画)】 P60 第3章 基本施策 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して (2) 世界水準の観光リゾート地の形成 ウ 観光客の受入体制の整備 (前略) …多様なレクリエーション需要に対応した公園等の整備を図るとともに…(以下、省略)。 P129 第5章 圏域別展開 3 圏域別展開の基本方向 (1) 北部圏域 イ 圏域別の特色を生かした産業の振興 (ア) 観光リゾート産業の振興 (前略) また、県内最大規模の集客を誇る観光・レクリエーション施設である本部町の国営沖縄記念公園海洋博覧会地区については、同地区の拠点機能の充実に向け、新たな観光ルートの形成など各地域や関係機関と連携した取組を推進するとともに、…(以下、省略)。</p> <p>【沖縄県観光振興基本計画(第5次)】 P33 Ⅳ 施策の展開 1 多様で魅力ある観光体験の提供 (2) 沖縄版文化振興の推進 ア 世界遺産の整備・活用 首里城をはじめとした「琉球王国のグスク及び関連遺産群」についての適切な観光活用と保全のあり方を検証し必要な整備を図る。(以下、省略)</p> <p>(参考)国土交通省所管公共事業の再評価実施要領に基づき沖縄総合事務局が行った費用対効果分析結果は、事業全体6.01・残事業1.04</p>

再評価を実施した事業

別紙1

1. 直轄事業(沖縄総合事務局)  
(農業農村整備) 1件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興推進の視点からの評価
⑬	コクエイ ハイスイジギョウ 国営かんがい排水事業 イエ クニガミケンイエソン 伊江地区(国頭郡伊江村)	平成16年度 250億円	<p>【事業概要】                      受益面積：668ha（畑668ha）                      主要工事：地下ダム1箇所、揚水機場2箇所、                      用水路8.3km                      工期：平成16年度～平成28年度（予定）</p> <p>【進捗状況】                      平成26年末進捗率：86%（事業費ベース）</p>	事業継続	<p>本事業は、伊江島において農業用水の安定供給を図るため、地下ダムを1ヶ所新設するとともに、揚水機場および幹線水路を整備するものであり、沖縄21世紀ビジョン基本計画の「沖縄の特性に応じた、地下ダム等の整備」に即している。</p> <p>本事業は着工から10年を経過し、最終段階の配水システムの整備等が残されており、適切な事業効果の発現のため、事業を継続する必要がある。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】                      第3章 基本施策                      3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して                      P76 (7) 亜熱帯性気候等を生かした農林水産業の振興                      力 亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備                      (略)</p> <p>このため、沖縄の特性に応じた、地下ダム等の整備や新たな農業用水源の確保、かんがい施設の整備、区画整理等を計画的に推進するとともに、水事情の変化に対応するため施設等の再編・更新を図ります。</p> <p>(参考)農林水産省所管公共事業の再評価実施要領に基づき沖縄総合事務局が行った費用対効果分析結果は、1.02</p>

## 2. 補助事業（沖縄県）

(水道) 1件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興計画推進の視点からの評価
⑭	ナキジソ <sup>ン</sup> ショ <sup>ン</sup> 今帰仁村諸志簡易水道事業 ナキジソ <sup>ン</sup> (今帰仁村)	平成18年 28億円	<p>【主な整備事業内容】</p> <p>取水施設 取水ポンプ室：2か所  導水施設 調整池：1か所  ポンプ設備：2台  導水管：L=7,500m  浄水施設 浄水場：Q=2,290m<sup>3</sup>  送水施設 ポンプ室：1か所  ポンプ設備：2台  送水管：3,500m  配水施設 ポンプ場：2か所  ポンプ設備：2台  配水池：2か所  配水管：L=35,016m</p> <p>【工期】 平成19年度～平成28年度</p> <p>【進捗率】 81.3% 計画通り進捗している。</p>	配水管や配水池場等の整備を促進し、平成28年度事業完了を図る。	<p>今帰仁村諸志簡易水道事業は、水道水の安全かつ安定的な供給を図るため、施設の拡張や老朽施設の改良、更新をするものである。</p> <p>また、当該整備は、「上水道施設の整備については、今後の水需要や水質の安全性を確保するための水道施設等を整備するとともに、老朽化した水道施設の計画的な更新、耐震化等を推進します。」とされている沖縄21世紀ビジョン基本計画の趣旨にかなうものである。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】 P51 第3章 基本施策 2 心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して (6) 地域特性に応じた生活基盤の充実・強化 ア 地域特性に応じた生活基盤の整備 「上水道施設の整備については、今後の水需要や水質の安全性を確保するための水道施設等を整備するとともに、老朽化した水道施設の計画的な更新、耐震化等を推進します。」</p> <p>(参考) 厚生労働省所管公共事業の再評価実施要領に基づき今帰仁村が行った費用対効果分析結果は、事業全体5.54・残事業13.32</p>